

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	さかい文化芸術発信事業				シート番号	008-078
担当部署名	文化観光	局	文化	部	文化	課 評価責任者(課長名)
						辻尾

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	文化芸術活動の振興	無
	2	事業開始年度	平成 29 年度		終了(予定)年度	令和 2 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	自由都市堺文化芸術まちづくり条例			
	4	関連計画	自由都市堺文化芸術推進計画			
5	事業実施の経緯	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、堺の魅力発信、文化芸術に係るレガシーの創出及び次世代への継承を目的とした文化プログラムを展開する必要があるため。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()					
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	堺市民、来堺者					
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	本市が歴史文化を活用したまちづくりを進めていることを踏まえ、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラム(東京2020応援文化オリンピックアード)として、地域に根ざした堺固有の文化芸術資源を紹介することで、文化芸術の振興に努める。					
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	本市が歴史文化を活用したまちづくりを進めていることを踏まえ、地域に根ざした堺固有の文化芸術資源を活用し、都市魅力を国内外に発信するため、展覧会を開催する。					
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	2,318	2,781	3,824	3,853	6,988	6,063	8,585	
主な事業費内訳	特別展経費	千円	2,318	2,781	3,824	3,853	6,988	6,063	8,585
		千円							
		千円							
		千円							
	財源内訳	千円							
	国・府支出金	千円							
受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							772	
市債	千円								
その他(助成金等)	千円							4,730	
一般財源	千円	2,318	2,781	3,824	3,853	6,988	6,063	3,083	
12 人件費 (b)	千円	1,020	1,020	1,020	1,020	1,020	1,020	1,050	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	3,338	3,801	4,844	4,873	8,008	7,083	9,635	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	さかい文化芸術発信事業	シート番号	008-078
-------	-------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績							
活動実績と成果	14	企画展「鍵谷節子の世界—花々に込められた想い」を実施した。					
		【鍵谷節子について】 鍵谷節子は堺に在住し、堺美術協会の役員や審査員をつとめ、2009年には堺市特別功績者表彰を受賞した。また海外との文化交流に力を注ぎ、堺高島屋や堺女性大学などで教鞭をとり後進の指導にあたるなど、地域の文化育成につとめており、堺にゆかりの深い作家である。					
		展覧会アンケートから、93.8%の方が展覧会について「よかった」と回答しており、地域に根ざした堺固有の文化芸術資源を満足度高く紹介することができ、文化芸術の振興に努めることができた。					
		指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	15	特別展の入場者数	人	目標値 3,000	3,000	3,000	3,000
				実績値 3,092	2,935	2,677	
				達成率 103%	98%	89%	
				評価 良い	普通	普通	
		算出方法・設定根拠など	展覧会の入場者数から積算(平成29年度は29日間、平成30年度は21日間、令和元年度は20日間)				
	16		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			評価				

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	展覧会の入場者数	人	3,092	2,935	2,677
	②	上記①にかかる年間経費	千円	3,801	4,873	7,083
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	1,229	1,660	2,646
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

19	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>特別展の入場者数の目標を達成できなかった要因として、実施場所のアクセスとプロモーション不足などがあげられる。 平成29～30年度はさかい利晶の杜で実施したのに対し、令和元年度は堺市立東文化会館で実施した。さかい利晶の杜は最寄り駅が複数あり、いろいろな路線からの集客が可能であるのに加え、指定管理者としてさかい利晶の杜への誘客を常時行っているため、令和元年度よりも集客があったと分析する。(堺市立東文化会館が貸館ギャラリーのため、展覧会実施の際は、ほぼ堺市だけでプロモーションをおこなっている。)</p>
----	---

- 【分析のチェックポイント】**

 - 事業の達成度はどうでしたか。
 - 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
 - 資源投入は適切でしたか。
 - 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
 - 有効性は高いですか。低いですか。
 - 効率性は向上していますか。
 - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
 - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	さかい文化芸術発信事業	シート番号	008-078
-------	-------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できる <input type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 文化芸術は人々の創造性・表現力を高めるとともに、多様性を受け入れることができる心豊かな社会を形成するものである。そのため、堺市の所蔵する作品について、展覧会として公開することで、文化芸術振興や心豊かな社会の形成に寄与するとともに、作品活用を継続的に行うことで退蔵を防ぐことができるため。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響	休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明	
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見	内容精査して展覧会として堺市の所蔵作品活用を継続的に行う。今後、効果的・効率的な事業の実施に向け、会場の指定管理者等と公民連携の推進を図っていく。また、今後、大阪府所蔵の作品も活用した展覧会についても検討していく。 なお、来年度に文化芸術推進事業を創設し、当該事業をそちらに統合した上で、効率的な運営を図っていく。		